

英彦山フォトラリー

1 活動のねらい

コミュニケーション能力	自分のことは自分でする	何事も最後までやり遂げる	リーダー性	自己をふり返り、集団を見つめ直す	自然に親しみ、環境について考える
◎		○	○		○

2 概要



写真で示されたコース図を頼りに制限時間内にゴールを目指します。チェックポイントには英彦山にまつわる問題が設けられています。

仲間との話し合いが道に迷わないポイントになります。

問題例



ここを曲がると、すぐのところに交番があるぞ！

まっすぐすすむと、左に階段がある

問題2
交番の前にあるお店の名前は何という名前のお店でしょう

交番をすぎたら、道沿いにまっすぐ進もう。

3 対象及び活動形態 小学校低学年以上 120名程度(1グループ3名~5名が望ましい)

※グループごとに3~10分の時差を設けてスタートするため、
グループ数が多いほど、最終グループの出発・到着時間が遅くなります。
その場合、1と2の併用を実施するなどの手立てが必要になります。

4 活動の流れ

事前説明

注意事項の説明・確認(活動範囲・帰着時刻・写真進行表の読み方 等)

活動

- ① 作戦タイム
- ② グループごとの出発
- ③ チェックポイントの問題を解き記入
- ④ 定められた時刻までに帰着

ポイント

1	高住神社～奉幣殿コース	2.5～3時間
2	奉幣殿～高住神社コース	2.5～3時間
3	奉幣殿コース(階段上り)	2～2.5時間
4	奉幣殿コース(階段下り)	2～2.5時間

※1グループの活動時間

活動後

帰着グループ人員・健康状態確認
得点の集計と採点・結果発表・ふり返り
借用物品の返却 青年の家職員への連絡

対象や活動のねらいに合った内容を選びましょう。

事前の踏査をして、コースの状況を知っておきましょう。(安全確認等)
引率者で、スタート・ゴール係、巡回係、チェックポイント係などの役割を決めておきましょう。

5 準備物

『青年の家』 コース図、解答、バインダー、ゼッケン

『個人』 帽子、カッパ、野外活動に適した服装(長袖・長ズボン 等)、水筒、時計、タオル
ちり紙、リュックサック、筆記用具 等

『団体』 救急用品、笛 等